

◇2012年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ(高等学校)〈抜粋〉◇

この調査は2012(平成24)年度に実施された高等学校の修学旅行に関するものである。

今回の調査では、国内修学旅行実施率は87.0%であり、海外修学旅行を実施(10.1%)と合わせると97.1%の学校が修学旅行を実施している。これは、東日本大震災があった2010年度の93.9%や、それ以前(2008年度)の96.0%と比べてみると、実施率ではほぼ震災前まで戻っていると言える。ただし、行き先や宿泊地などの内容面ではまだ震災の影響が残っており、元通りとは言えない。

この調査は、全国の国立・公立・私立等の高等学校を対象とし、下表の調査校を抽出し回答を依頼した。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	15	3,688	1,319	5,022
抽出校数	15	1,510	1,319	2,844
回答校数	5	523	379	907
回答率%	33.3	34.6	28.7	31.9

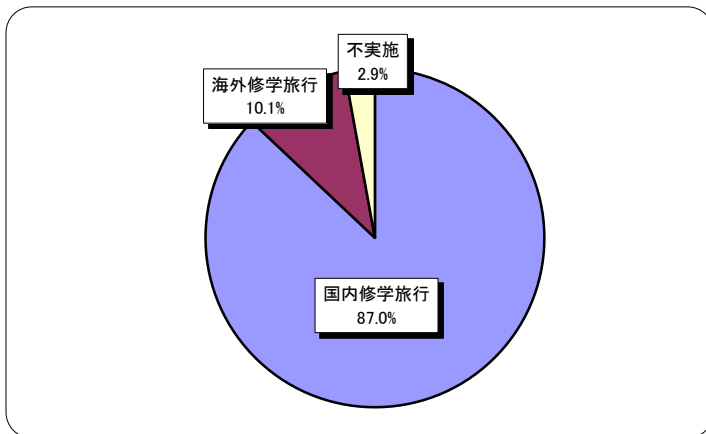
※ 回答率は、抽出校数に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

- (1)実施状況(2)不参加生徒の有無と理由(3)実施時期(4)実施学年(5)保健指導のための引率者
(6)旅行日数(7)旅行費用(8)主な交通手段(9)旅行内容「活動、旅行先、見学先、行動形態、宿泊地等」
(10)班別自主行動(11)体験学習(12)防災(避難)訓練の取り組み

ここではその一部を抜粋して紹介する。なお詳細についてはデータブック教育旅行年報をご覧ください。

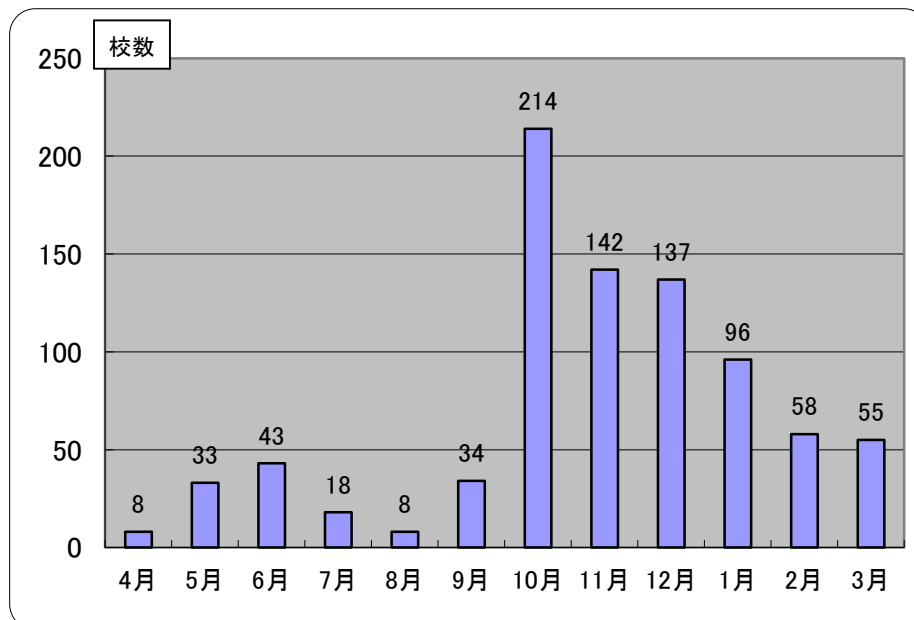
1 修学旅行の実施状況



国内・海外を合わせた修学旅行の実施率は97.1%であり、前回(2010年度実施)の93.9%、前々回(2008年度実施)の96.0%より若干増えた。

国内と海外の構成比で見ると、前回は国内が75.9%であったが今回は87.0%に増えたが、海外は18.0%から10.1%に減った。

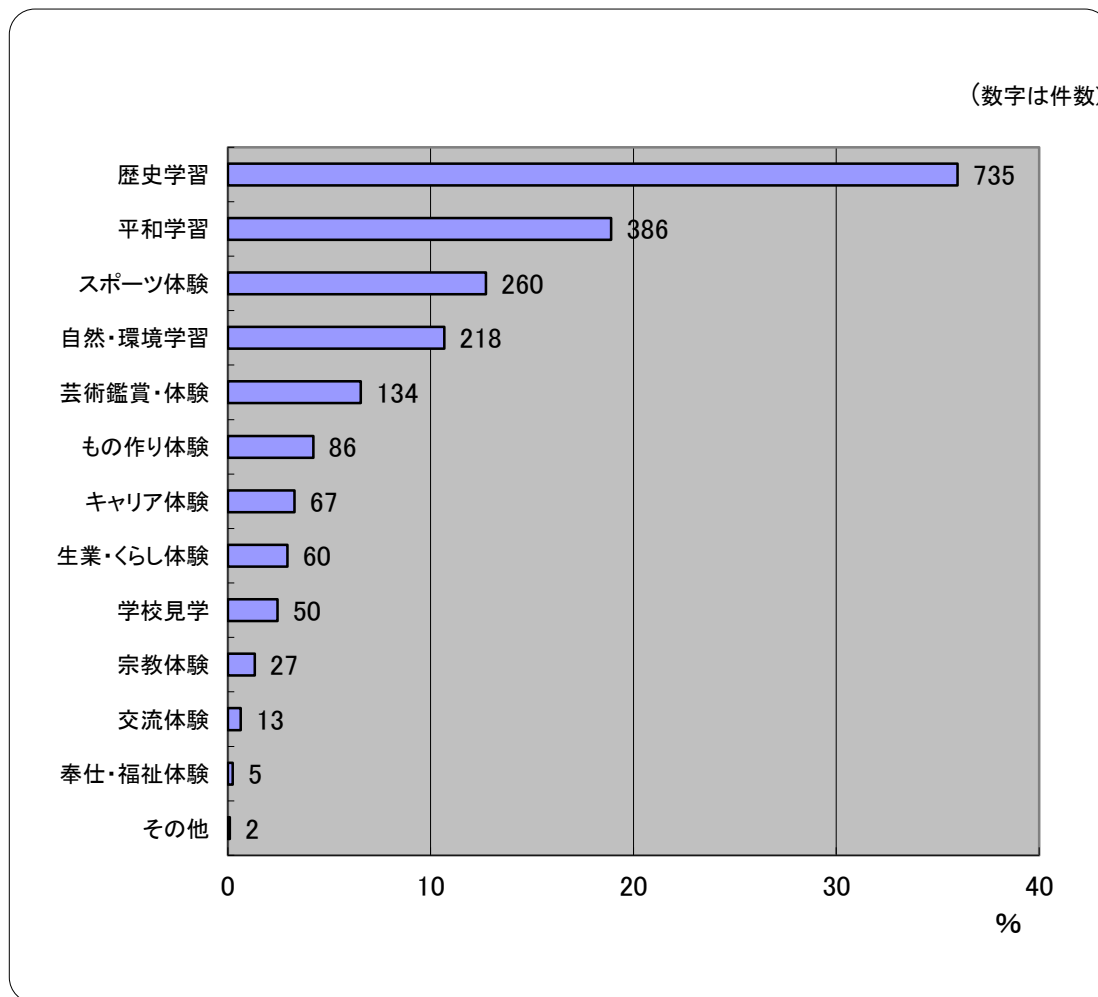
2 国内修学旅行の実施時期



国内修学旅行の実施時期は、10月～12月に実施する学校が全体の58.3%を占めている。

国公立校では10月～1月の実施校が年間全体の78.4%を占め、2月～3月の実施校が減少している。これはスキー修学旅行の減少が反映されているためと考えられる。

3 分類別旅行内容



国内修学旅行で重点をおいた旅行内容を大きく分類し「歴史学習」関連や「平和学習」関連で見ると、「歴史学習(史跡・町並・産業遺産・博物館の見学等)」に重点をおくものが735件と一番多く全体の36.0%を占める。

続いて「平和学習」が386件(18.9%)、スポーツ体験(スキー・スケート・ラフティング・カヌー等)が260件(12.7%)となり、この3分類内容で全体の70%近くを占める。

一方、重点をおいた活動内容では前々回の調査(2008年度実施した修学旅行)では「博物館の見学」や「美術館の見学」が上位にきていたが、この4年間で大きく順位が下がり、代わって「職場訪問・職場体験」や「いなか暮らし体験」「国際交流」などが徐々に上がってきている。



軍艦島クルーズ



マウンテンバイク体験
(写真提供=みなかみ町教育旅行協議会)

4 旅行先ベスト20

順位	見学先	件数	構成比%
1	沖縄	254	14.3
2	京都	200	11.3
3	東京	180	10.1
4	大阪	149	8.4
5	北海道	144	8.1
6	千葉	132	7.4
6	奈良	132	7.4
8	長崎	86	4.8
9	福岡	80	4.5
10	広島	76	4.3
11	兵庫	63	3.5
12	長野	52	2.9
13	熊本	45	2.5
14	神奈川	39	2.2
15	佐賀	25	1.4
16	鹿児島	20	1.1
17	新潟	17	1.0
18	山口	12	0.7
19	岡山	7	0.4
20	愛知	6	0.3
20	滋賀	6	0.3
その他		52	2.9
合計		1,777	100.0

前回までは午前・午後の半日を1単位として、訪問した都道府県をカウントしていたが、今回からはより実態に近くするために滞在時間に関係なく、また旅行中に同じ場所を複数回訪問しても旅行先としては1回とした。

従って、スキー修学旅行や、沖縄・北海道などのように比較的一個所に長く滞在する都道府県の順位が相対的に低くなっている。

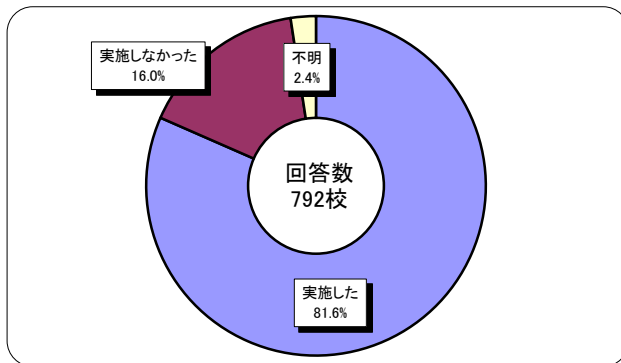
順位では北海道(前回2位→今回5位)、長野(〃6位→〃12位)、新潟(〃11位→〃17位)が順位が下がったが、京都・大阪・福岡などの周遊型のコースで訪問する府県は順位が上がった。

ただし、沖縄は総件数の構成比では(前回27.3%→今回14.3%)大きく下がったが、順位は引き続き1位である。

一方、前回および前々回の調査では東北地区の県が20位以内に3県程度はランクインしていたが、今回の調査では22位(5件)の岩手が最高である。

従って、冒頭に述べたように修学旅行の実施率では震災前に戻っているが、旅行先等では影響が大きく残っていると言えよう。

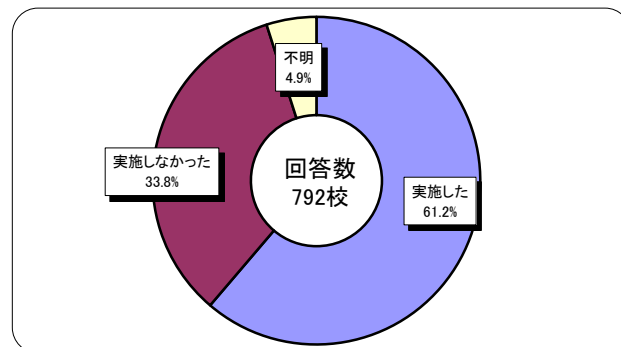
5 班別自主行動実施率



班別自主行動の実施率は81.6%と高く、前回の78.6%からさらに増えている。

設置者別では公立校で81.4%、私立校でも81.5%の学校が実施しており、国立校はサンプル数が少ない(4校)が、100%実施している。

6 体験学習実施率



体験学習を実施した学校は全体の61.2%であり、前回の58.7%から増えている。

設置者別では国立校の75.0%、公立校の58.4%、私立校では66.4%が実施しており、受け入れ側の積極的な取り組みもあり、近年大きく増えている。

ただし、一方では体験学習の費用が高く、経済的な負担が大きいことが今後の課題である。